

36th Annual MOA Odawara Children's Painting Exhibition

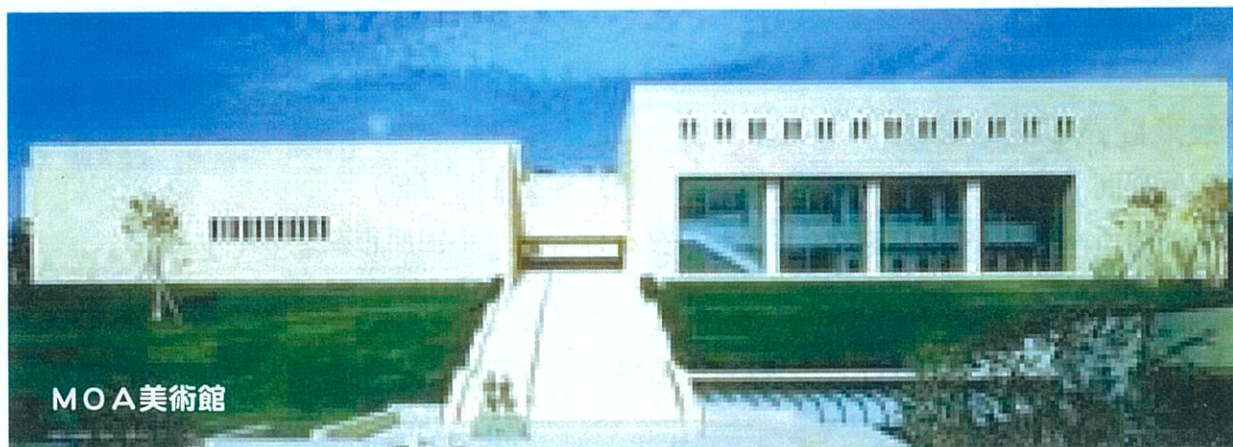
令和7年度

第36回

MOA美術館



小田原児童作品展



作品募集

＜絵画・書写＞

公益財団法人岡田茂吉美術文化財団（MOA美術館）
第36回 MOA美術館小田原児童作品展実行委員会

1. 開催の願い

現代の日本は、グローバル化、少子高齢化などによって多様な社会へと激しく変化しており、学校教育においても、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成する事を通じて、これからの社会において「生きる力」をより一層育むことが重要になっています。

MOA美術館児童作品展は、「学習指導要領」にもとづき、子どもたちが自然・環境、社会、他者との関わりを通して、興味や関心をもったことを、感性を働かせながら絵画や書写によって表現することで情操を養い、豊かな心を育てることを目標に開催しています。

子どもたちの創作活動を奨励することは、夢や目標に向かって自ら考え、行動する力を高めると同時にそれぞれの国の伝統と文化への関心を高め国際文化交流に資するものと考えています。

本児童作品展は、2万人を超える全国の美育ボランティアによって支えられ、さまざまな個人、団体と協力しながら、医療福祉機関での巡回展示や、年間を通じた美育活動など、学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもを育ていくことを重視するもので、このことによって、地域社会の絆を深め、心身ともに健康な活力あるコミュニティづくりを願っています。

子どもたちの多様な個性・能力によって制作された創造性やチャレンジ精神あふれる作品展へと伸展してきております。

本年も、当作品展の開催に対しまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます

MOA 美術館

MOA 美術館（静岡県熱海市：運営は公益財団法人岡田茂吉美術文化財団）の創始者である岡田茂吉は、「真善美」を、理想社会構築の基盤とし、特に「美」の普及に意を注ぎ、美術・文化活動を奨励しました。

その具現に向け、MOA 美術館では、日本および東洋における優れた美術品を公開し、各地においても美術展を開催しております。また日本の伝統芸能の振興や優秀な芸術家の輩出を願っての育成も積極的にすすめております。

そうした活動の一環として、次の世代を担う子どもたちの創作活動を奨励することで、「社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成」「自ら学び自ら考える力などの生きる力の育成」など、子どもの健全なる成長を願い、社会教育ならびに情操教育の一端を担うことを目的として、この児童作品展に取り組んでいます。

2. 開催期間及び開催場所

- ◇開催期間：令和7年12月20日（土）～21日（日）
- ◇開催場所：小田原市生涯学習センターけやき（小田原市荻窪300番）
- ◇応募〆切：令和6年9月5日（金）

3. 主催・後援

- ◇主催／MOA美術館（公益財団法人岡田茂吉美術文化財団）
「第36回MOA美術館小田原児童作品展」実行委員会
- ◇後援／文部科学省、外務省、農林水産省、環境省、こども家庭庁
日本ユネスコ国内委員会、公益社団法人日本PTA全国協議会、
（申請中）公益社団法人全国子ども会連合会、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟、
全国新聞社事業協議会、公益財団法人海外日系人協会、全国連合小学校長会、
神奈川県、神奈川県教育委員会
（予定）小田原市、真鶴町、小田原市教育委員会、真鶴町教育委員会
小田急電鉄株式会社、伊豆箱根鉄道株式会社、株式会社小田急箱根、
一般社団法人小田原医師会

4. 募集内容

- ◇ 募集は「**絵画の部**（版画含む）」、「**書写の部**」の2部門です。
- ◇ テーマは自由です。
- ◇ いずれも、未発表の個人作品で、一人1点に限ります。
- ◇ 対象は小学校1年生～6年生です。
- ◇ 規格は次のとおりです。

【絵画の部】

- (1) **四つ切り** または **B3サイズ**とし、厚紙は不可。 **※サイズは厳守ください**

※版画の場合、作品が小さい場合はB3サイズの台紙に貼って提出。

- (2) 表現材料は 水彩絵の具、パステル、クレヨン、カラーペン、色紙等

(一部に貼絵や工的な技工をした作品も原則的には可としますが、全国展へ出展できない場合もあります。)

【書写の部】毛筆 **※筆運び（止め、はらい等）を正確にする。**

- (1) 文字数：自由

半紙→

- (2) 用紙は半紙に限ります。

※ 作品に学校名や学校印など無いようにしてください。

※ 応募用紙は作品に貼らないで提出ください



5. 応募方法

- ◇ **絵画の場合** 所定の応募用紙を、必ず**作品の裏面右上**に貼りつけてください。
※書写の場合は応募用紙を貼り付けないでください
- ◇ 作品は丸めないで、平版のまま扱ってください。
- ◇ 規格外やポスター、他展への出品を目的として制作した作品等の応募はご遠慮ください。

6. 審査および入賞について

(1) 審査基準

- ① 感性豊かに、たのしく、美しい作品
- ② 心がこもって、創意、工夫をこらした作品
- ③ 明るく、伸び伸びしている作品
- ④ 個性的で、子どもらしく生き生きしている作品
- ⑤ 自然や人を思う心などが表れている作品

(2) 設定する賞（予定）

- | | |
|-----------------|------|
| ① M O A美術館奨励賞 | ⑦ 金賞 |
| ② 小田原市長賞 | ⑧ 銀賞 |
| ③ 小田原市教育委員会教育長賞 | ⑨ 銅賞 |
| ④ 真鶴町教育委員会教育長賞 | ⑩ 佳作 |
| ⑤ 小田原医師会賞 | |
| ⑥ 審査員賞 | |

(3) M O A美術館奨励賞の扱い

- ① 各会場の「M O A美術館奨励賞」は、当美術館で審査し、入選以上の作品は令和8年1月に静岡県熱海市で開催予定のM O A美術館全国展に出展し、終了後返却（1年間保管を原則）いたします。
- ② 全国展における「金賞」以上を受賞した作品は、優秀作品として順次展示（館内、賛同できる企画展）するため、M O A美術館に寄贈をお願いしております。
寄贈いただいた方には、作品の写真パネルを贈呈させていただきます。

7. 個人情報について

応募者からの個人情報は、M O A美術館児童作品展に関する連絡・発表・通知・表彰・発送・案内等以外には使用いたしません。

以上

M O A美術館小田原児童作品展は、年齢や性別・性格なども考え、子どもたちの心の豊かさを読みとり、子どもたちが、心の発散・発露として、その子らしさのある表現をしたかをじっと眺め、子どもたちの声を聞きました。

「子どもの絵とは」「美しさとは」と、初回から考え続け追求して来た積みもりですが、何時も「これで良いのか」と疑問を抱きながらも、真摯な気持ちで取り組んできました。（中略）

子どもの絵とは、子どもの呼吸、脈拍、心のリズムの溢れ出た結果で、子どもの生き様、自然や社会との係わりが心の底まで浸透し、絞り出された個性的・創造的表現だと思います。

じっと絵を見詰め話し合う。心を開いた子どもの声を聞きます。並大抵のことではありませんが、作品の内なる声、子ども自身の表現欲求と子どもの発想や表現技術との係わりを何回も何回も聞きながら審査を進めました。

（第18回M O A美術館小田原児童作品展 「審査員講評」より抜粋）